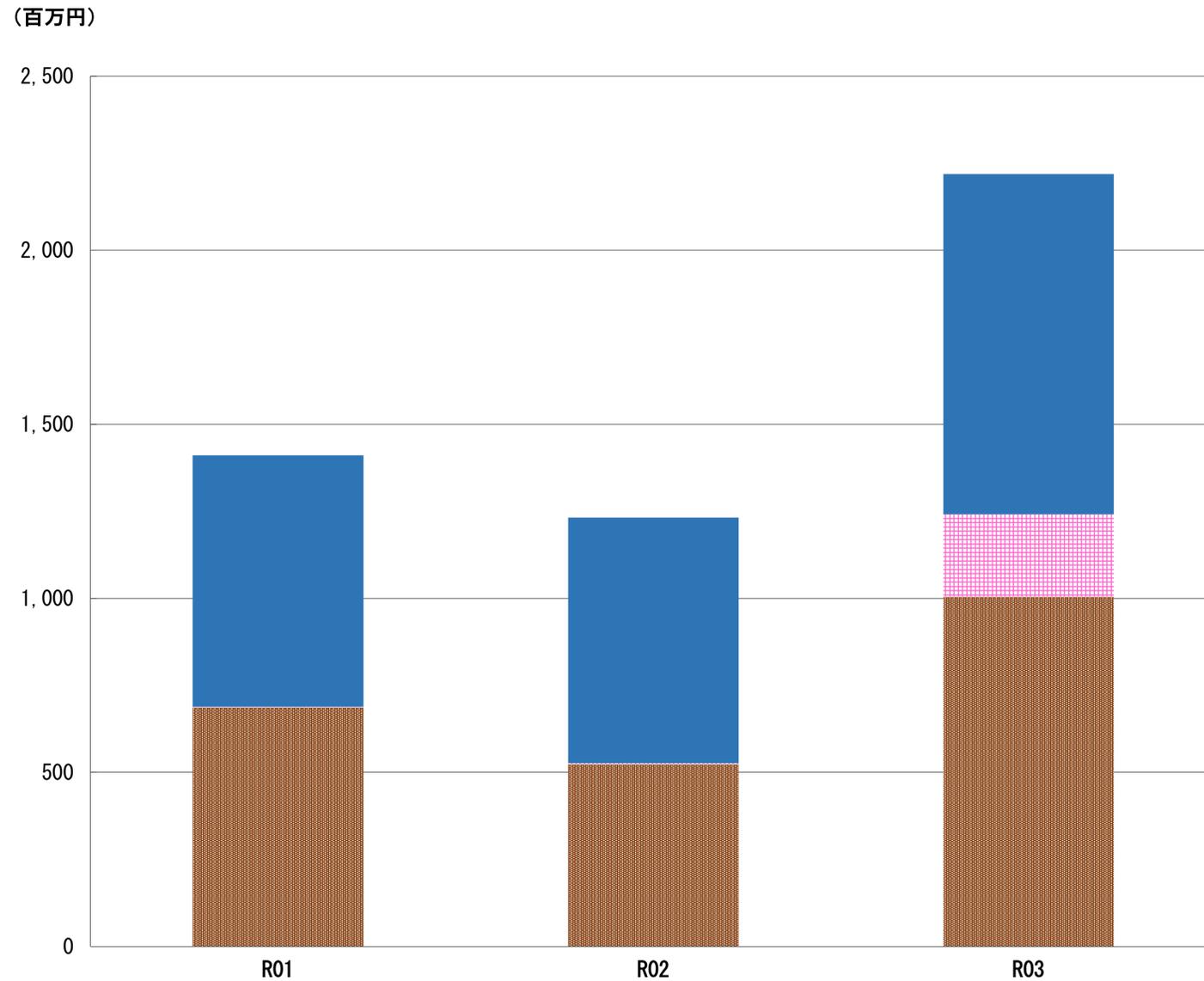


(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



(百万円)

区分	年度	R01	R02	R03
財政調整基金		686	523	1,004
減債基金		3	3	237
その他特定目的基金		722	706	978
ふるさと笠岡思民基金		312	225	354
退職手当準備基金		10	66	174
公共施設整備費引当基金		100	111	144
藤井育英会奨学基金		69	69	68
中山間ふるさと・水と土保全対策事業基金		55	50	46
基金残高合計		1,412	1,232	2,218

令和3年度

岡山県笠岡市

基金全体

基金全体では前年度から986百万円の増となっており、理由は主に普通交付税の追加算定に基づく財政調整基金及び現在基金の積立によるものである。また、ふるさと笠岡思民基金においても取崩額170百万円に対して299百万円を積立てており、これらより、全ての区分において、基金残高は大幅に増加した。

(今後の方針)

ふるさと納税の推進により思民基金の増額に努めるとともに、将来負担の軽減のため債務の抑制を図り、財政調整基金を目標の20億円に近づける。

財政調整基金

(増減理由)

主に普通交付税の追加算定や、令和2年度の税の徴収猶予分の収入があった影響などにより、250百万円を財政調整基金に予算積立を行ったことに加え、当年度の取崩がなかったことから、残高は大幅に増加した。

※積立額481百万円（決算剰余積立を含む）

(今後の方針)

目標額である20億円に到達すべく、これまで同様に決算剰余金の半分以上を財政調整基金へ積み立てるとともに、毎年の予算編成の中で自主財源の確保や経費の削減などにより一層注力し、取崩額を抑えるよう努める。

減債基金

(増減理由)

普通交付税の追加算定の中で令和3年度分の臨時財政対策債分が措置されたことに伴い、本市では当年度で臨時財政対策債の借入を行っていたことから、同額を基金に積立てたため。

(今後の方針)

当該臨時財政対策債の元金償還に合わせて基金からの取り崩しを行う。

その他特定目的基金

(基金の用途)

ふるさと笠岡思民基金：寄附金を財源として寄附者の思いを具体的に事業に生かし、笠岡市の活力ある福祉都市実現に資することを目的とする。

退職手当準備基金：退職手当の平準化を図る。

公共施設整備引当基金：公共施設の長寿命化や更新を計画的に行うことを目的とする。

藤井育英会奨学基金：基金を原資として奨学資金給付事業を行う。

中山間ふるさと・水と土保全対策事業基金：

中山間地域等の土地改良施設並びに地域資源の多面的利活用を通じて、地域の環境保全及び地域活動の発展を図る。

(増減理由)

ふるさと笠岡思民基金活用事業の実施により299百万円を積み立てたことによる。(同年度での取崩：170百万円)

退職手当の支払いにおいて、基準より事業費が低かったことにより、108百万円を積み立てたことによる。(同年度での取崩：0百万円)

公共施設整備費引当基金へ34百万円を積み立てたことによる。(同年度での取崩：0百万円)

(今後の方針)

ふるさと納税の推進により、思民基金の増額に努めるとともに、将来の庁舎等の建替えに備え公共施設整備費引当基金への積立も継続し